

## 第 39 回(2020 年度)日本自然災害学会に参加しました(2021/03/19 ~ 03/20)

場所：オンライン

参加者：佐藤翔輔准教授，門廻充侍助教，保田真理 プロジェクト講師，新家杏奈 (D1)，市川健 (D1)，渡邊勇 (M1)

令和 3 年 3 月 19 日 (金) ~ 3 月 20 日 (土) の 2 日間，オンラインで第 39 回日本自然災害学会の学術講演会が開催されました。日本自然災害学会は，自然災害科学の研究の向上と発展につとめるとともに，防災・減災に資することを目的として設立された学会です。当研究室からは口頭発表で 6 名が参加いたしました。発表題目は以下の通りです。また，当研究室の門廻助教と新家 (D1) が学術発表優秀賞を受賞いたしました。同賞は，優れた発表を行った若手研究者 (2020 年 12 月 31 日で満 35 歳以下の学会員) に贈られる賞で，今年は合計 5 名が受賞いたしました。

○ <u>佐藤翔輔</u>	令和元年東日本台風と令和 2 年 7 月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題
○ <u>門廻充侍</u> ， <u>今村文彦</u>	東日本大震災における宮城県での遺体発見場所と犠牲者住所の関係 <b>学術発表優秀賞受賞</b>
○ <u>保田真理</u> ， <u>邑本俊亮</u>	減災意識向上と減災行動につながる教育手法の一考察 —with コロナの時代でも持続性を保持するために—
○ <u>新家杏奈</u> ， <u>佐藤翔輔</u> ， <u>今村文彦</u>	中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践：気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例 <b>学術発表優秀賞受賞</b>
○ <u>市川健</u> ， <u>那須野新</u> ， <u>天谷香織</u> ， <u>榎館晋</u> ， <u>佐藤翔輔</u> ， <u>橋本雅和</u> ， <u>今村文彦</u>	地域コミュニティが関わる河川維持管理の事例分析—宮城県小西川を対象にした質的調査から—
○ <u>渡邊勇</u> ， <u>佐藤翔輔</u> ， <u>今村文彦</u>	東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価

(○は発表者，下線は本研究室所属を表す)

(文責：渡邊勇)